

# 実需者提携米栽培管理チェックリスト

多収品種の能力を引き出すための**9つのチェックポイント**

～土づくりと多肥施用、基本技術の励行が必要です！～

項目	チェック	No.	確認ポイント	次作への課題
移植時期と 栽植密度	<input type="checkbox"/>	1	<b>【適期移植】</b> 生育期間と登熟期間の確保のために適期（5月上旬）に植え付けましたか？	
	<input type="checkbox"/>	2	<b>【栽植密度】</b> 穂数確保のための十分な栽植密度（50～60株/坪）を確保しましたか？	
施肥および 水管理	<input type="checkbox"/>	3	<b>【多肥栽培の実施】</b> 地力を加味したうえで、十分な窒素量（目安10kg/10a）を施用しましたか？	
	<input type="checkbox"/>	4	<b>【追肥の施用】</b> 生育期間および登熟期間中の葉色が極端に落ちていませんか？	
	<input type="checkbox"/>	5	<b>【中干しの実施】</b> 中干しは田面に軽くヒビが入る程度に行い、過乾燥になっていませんか？	
刈取り時期	<input type="checkbox"/>	6	<b>【適期刈取り】</b> 登熟期間を十分に確保し、積算気温（1200～1300℃）、出穂後日数（出穂期確認）、黄化率（80～85%）を確認し、適期に刈取りが行われましたか？	
土づくり	<input type="checkbox"/>	7	<b>【稲ワラの鋤き込み】</b> 有機物の補給として「稲ワラ」の鋤き込みを刈取り後の年内に実施しましたか？	
	<input type="checkbox"/>	8	<b>【根圏の拡大】</b> 作土層の拡大を目指し、深さ15cmを目標とした耕うんを実施しましたか？	
	<input type="checkbox"/>	9	<b>【土壌改良資材の施用】</b> 土壌診断等を活用し、不足分の土壌改良資材（堆肥、ケイカル、けい酸加里等）を補充しましたか？	